

## 漂流軽石回収技術検討ワーキンググループ（第3回） 議 事 概 要

日 時： 令和3年11月26日（金） 15：00～16：30  
場 所： 国土交通省10階港湾局会議室（WEB併用）

### 1. 主な議事

○これまでのワーキンググループでの議論を踏まえて作成した「漂流軽石の回収技術に関する取りまとめ(案)」、及び令和3年11月17日に開始した「軽石回収に関する技術・アイデアの募集」について、構成員による意見交換を行った。

### 2. 主な意見

- 漂流軽石を効率的に回収するには、ある一定の箇所になるべく多く集積させることが重要である。個別の回収技術の紹介においては、様々な軽石の集積方法が記載されているが、記載箇所が点在している。よりわかりやすい取りまとめとするため、留意事項としてまとめて記載することが有益である。
- 取りまとめ案に記載されている「時間あたりの回収量」については、軽石の集積の状況や、回収した軽石を運搬する時間等の周辺環境にも大きく左右されることから、様々な前提条件によってその数値が変わりうることを明記しておく必要がある。
- 汚濁防止膜を用いた港内への軽石流入防止対策について、例えば、前回のワーキンググループで指摘があったとおり、オイルフェンスを用いて油回収を行う際に、直角方向で1ノット以上のスピードで動かすとスカートの下から漏れ出るという情報を参考として、軽石の集積においてもこの情報を参考として対応するように記載するなど、具体的な留意事項を記載する必要がある。
- ワーキンググループにおける情報共有は非常に有効であるため、今後も適時適切に情報共有を行う必要がある。
- 「軽石回収に関する技術・アイデアの募集」について、多数の応募が寄せられた。今後、ワーキンググループにおいて内容を精査し、12月上旬を目途として「漂流軽石回収に関する技術・アイデア集」を国交省のホームページ等において公表する。

以 上